

国際ロータリー第2790地区第5グループ
2026-27年度 第9回例会(通算第2736回)週報
2026年9月9日(水)

出席

会員 44名 出席 27名 欠席 17名

出席率 65.85%(27/41)

修正前出席率 66.66%

修正後出席率 83.33%

欠席者【敬称略】

石井、江崎、大里、加藤、金見、叶川、阪中、嶋
津、四宮、鈴木(秀)、鶴岡、林田、藤野、渡邊(元)

メイクアップ【敬称略】

9/2 RLI実行委員会

石田、松岡

9/5 インターアクト海外研修説明会

石田

◆四つのテスト

内田重会員



◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介

白井RC ポリオプラス委員長
TENPOS(株)専務

石田亨会長

畠山泰哲様

松本綾様

◆来訪ロータリアン挨拶

◇白井RC ポリオプラス委員長 畠山泰哲様

◇TENPOS(株)専務 松本綾様

◆会長挨拶・報告

石田亨会長



■司会進行

青木和義副S.A.A.



◆点鐘

石田亨会長

◆ロータリーソング斉唱

「我等の生業」

皆さま、こんにちは。

本日も多忙の中、9月第2回例会にご出席いただき、誠に
ありがとうございます。

会 長	石 田 亨
幹 事	佐 藤 優 希
会報・IT活用委員会委員長	石 東 貴
副委員長	藤 田 洋 行

RI会長	オンラインカ H. ババロラ
ガバナー	森 島 弘 道
ガバナー補佐	黒 岩 靖 之

9月に入りまして、残暑の厳しい日もあれば、雨が続き肌寒い日もあり、体がついていけないこの頃です。皆さま体調管理には十分留意してください。

さて、ロータリーでは9月を「基本的教育と識字率向上月間」と定めています。

教育は、子どもたちが将来、自分の人生を切り拓いていくための大切な基盤です。

そして、文字を読み、書き、理解する力は、学ぶだけではなく、人と人がつながり、社会の中で自分らしく生きていくためにも欠かせないものです。

しかし世界には、今なお十分な教育を受けることができない子供たちがいます。

私たちの身近な地域に目を向けましても、子どもたちを取り巻く環境は、決して一様ではありません。

だからこそ、ロータリーが教育を支援する意味があるのだと思います。

木更津東ロータリークラブでも、岩根小学校での大豆栽培や味噌づくりなど、子どもたちと直接ふれあひながら学びを支える活動があります。

こうした活動は、単に農作物を育て、味噌をつくるということだけではありません。

子どもたちが自分の手を動かし、仲間と協力し、失敗や発見を経験する。

その一つひとつが、子どもたちの「学ぶ力」や「生きる力」につながっていくのだと思います。

今年度、私たちは「実践躬行」を掲げています。

思っているだけではなく、自ら行動する。誰かがやってくれるのを待つのではなく、自分たちが一歩を踏み出す。これこそがロータリーの奉仕の原点ではないでしょうか。

9月の「基本的教育と識字率向上月間」を機会に、私たち一人ひとりが教育の大切さについて改めて考え、そして地域の子どもの成長のために何ができるのかを考えてみたいと思います。

一人のロータリアンの小さな行動が、子どもたちの未来を明るくすることがあります。

そして、その小さな行動が会員同士の力によって積み重なれば、木更津東ロータリークラブとして大きな力になるはずです。

これから秋に向けて、さまざまな活動が続いてまいります。

会員の皆さまには、ぜひ積極的に参加していただき、「実践躬行」という今年度の思いを、実際の行動として一つひとつの形にしていきたいと思います。

私自身も会長として、皆さまとともに考え、ともに行動し、地域の未来に少しでも貢献できるクラブを目指してまいります。

本日の例会が、皆さまにとりまして実りある時間となりますことを願い、会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

◆幹事報告

佐藤優希幹事



1. 第3回理事会報告

1) 出席者:7名

1) 2026年度8月収支報告の件

→承認されました。

2) アクアラインマラソンボランティアの件

→承認されました。

3) 新会員の件

鈴木泰智様 推薦者:加藤智生会員

→承認されました。

富沢通俊様 推薦者:江崎勝博会員

→承認されました。

2. 幹事報告

1) 今月のロータリーレートは160円です。

2) ロータリー財団統括委員会よりポリオプラス・ソサエティのご案内が届いております。

3) ガバナー事務局より「財団室NEWS 9月号」が届いております。回覧いたします。

4) 国際ロータリー第1地域ロータリー財団コーディネーターよりお知らせが届いております。回覧いたします。

3. 他クラブからのお知らせ

なし

4. その他のお知らせ

1) 一般財団法人比国育英会バギオ基金より「バギオだより 第116号」が届いております。回覧いたします。

5. クラブ外での活動について

・8月27日 インターアクト年次大会

会場:東海大学付属市原望洋高等学校

出席者:石田亨会長、佐藤優希幹事、近藤直弘会員(インターアクト委員会委員)

・8月29日 奉仕プロジェクトセミナー

会場:TKPガーデンシティ千葉

出席者:石田亨会長、佐藤優希幹事、鶴岡大治会長エレクト、石井文子会員

・9月2日 RLI実行委員会

会場:千葉

出席者:石田亨会長、松岡邦佳会員(RLI実行委員会委員長兼RLI委員会委員)

◆委員会報告

◇雑誌・姉妹クラブ委員会

宮寺順子委員長

ロータリーの友9月号紹介



ロータリーの友9月号横組6ページから11ページに掲載されている「ロータリーのブランドについて考える」を読み、ロータリーの素晴らしい活動を社会に伝えることの重要性を改めて感じました。

私たちは、地域の清掃活動や青少年の育成、災害支援、国際協力など、地域や世界のためにさまざまな奉仕活動を行っています。しかし、どれほど意義のある活動であっても、その目的や成果が地域の皆さまに伝わらなければ、活動の価値を十分に理解していただくことはできません。活動を継続し、より多くの人の協力を得るためには、実施するだけでなく、社会に向けて分かりやすく発信することが必要だと感じました。

特に印象に残ったのは、「良いことをしているだけでは伝わらない」という考え方です。例えば、奉仕活動の実施報告をする際にも、何をしたらだけでなく、なぜその活動を行ったのか、誰のためになったのか、どのような成果や変化が生まれたのかを具体的に伝えることが大切と言う事です。

活動に込めた思いや、参加した人々の声を紹介することで、ロータリーを知らない方にも活動の意義を身近に感じていただけたと思います。

また、写真や言葉の選び方、ロータリーのロゴの適切な活用など、発信の方法を統一することが信頼につながるという点も大変参考になりました。正確で分かりやすい情報を継続的に発信すれば、ロータリーがどのような団体で、社会にどのような貢献をしているのかを理解していただきやすくなります。その結果、地域の方々からの理解や協力が得られ、新たな会員や活動の担い手との出会いにも、つながると感じました。

今後は私自身も、奉仕活動に参加するだけでなく、その目的や成果を周囲に伝えることを意識したいと思います。ロータリーの活動を社会に正しく、継続的に発信することは、単なる広報ではなく、活動を次の世代へつなぎ、より大きな奉仕へ発展させるための重要な役割だと思いました。

ロータリーの魅力と価値を一人でも多くの方に知っていただくことで、地域社会との信頼関係を深め、共により良い社会を築いていけるのだと改めて思いました。

縦組11ページの鎌倉ロータリークラブの久保田英男さんのエッセイを読んで、トルコという国にとっても興味を持ちました。

私はこれまでトルコと聞くと、カッパドキアや気球、あるいはケバブくらいしか思い浮かびませんでした。しかし今回のエッセイを読んで、トルコがアジアとヨーロッパの文化が交わる場所であり、その歴史や文化が食べ物にも深く反映されていることを知りました。

特に印象に残ったのは、ヨーグルトの語源が古代トルコ語に由来しているという話です。私たちが普段何気なく口にしている食べ物にも長い歴史があり、世界中の人々の暮らしや文化がつながっているのだと感じました。

また、「マントウ」という料理が餃子によく似ていることや、ピデがピザを連想させることなど、シルクロードを通じて食文化が広がり、それぞれの地域で独自に発展してきたことにも興味を持ちました。食べ物を通して歴史を学ぶことができるのは、とても面白いことだと思います。

さらに、トルココーヒーやトルコアイスなど、日本でも名前はよく知られているものの、その背景や作り方については知らないことばかりでした。記事を読みながら、実際に現地を訪れて本場の味を体験してみたいという気持ちになりました。

ロータリーでは国際理解や親善を大切にしていますが、異なる文化を知り、理解しようとするのもその第一歩だと思います。久保田さんのエッセイを通じて、遠い国の文化に触れながら、人と人とのつながりの大切さを改めて感じることができました。

いつか機会があればトルコを訪れ、記事で紹介されていた料理を味わいながら、その国の歴史や文化に直接触れてみたいと思います。

◇社会奉仕プロジェクト委員会・青少年奉仕委員会

倉島和広会員



9月9日(水)の11時に真板校長、米本インターアクト顧問、インターアクトの生徒の皆さんへ皆さんから集まったボトルキャップを進呈しました。

ロータリーからは石田会長、内田社会奉仕委員長、近藤インターアクト地区委員と倉島が参加しました。



○石田亨会長

本日は、ポリオプラス畠山委員長の卓話ありがとうございます。会員の皆様、ポリオ募金よろしく願います。ゲストの松本様、ぜひとも入会のご検討をよろしくお願いします。

○堀内正人会員

本日は国際ロータリー2790地区ポリオプラス委員長、畠山様の卓話を楽しみに参りました。よろしくお願いいたします。

○渡邊慎司会員

畠山委員長、本日の卓話をよろしくお願いします。松本さん、ようこそ当クラブへ。10月中旬位になったら蓮田に見に来て下さい。

○外崎広旭会員

本日は白井RCより今年度のポリオプラス委員会委員長の畠山様に卓話をして頂きます。ポリオ根絶まであと少しとなってきましたので、皆様のご寄付により根絶を目指していきましょう。

■例会アワー

ポリオプラス委員会

「あと少しを諦めない」

白井RC ポリオプラス委員長 畠山泰哲様



◆卓話スライド

テーマ「あと少しを諦めない」 世界からポリオをなくす挑戦



End Polio Now 「国境を越えて子どもたちを守るために」



テーマ:「あと少しを諦めない」
卓話者: 26-27年度ロータリーポリオプラス委員長 畠山 泰哲

1

自己紹介



【名前】 畠山 泰哲 (26-27委員長)

【所属クラブ】 白井RC (2790地区10グループ)

【ポリオ活動との関わり】

白井RCは僕が入会するずっと前からポリオイベントを立ち上げ根絶のための募金活動を行っていたので、当たり前活動だと思っていました

【今日のテーマ】

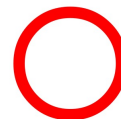
「あと少しを諦めない」

2

〇×クイズ



ポリオは現在も世界に存在している？



野生株ウイルス根絶まであと少し。

3

クイズ

END
POLIO
NOW

ポリオは現在も世界に存在しています

何ヶ国で存在している？

①125ヶ国 ②2ヶ国 ③84ヶ国

A. ② 2ヶ国

それはどこの国？

A. パキスタンとアフガニスタン

4

日本とポリオ

END
POLIO
NOW

ポリオの流行にワクチン供給が追いつかず、全国の母親たちの運動もあって、1千万人分の生ワクチンが当時のソ連から輸入。日本では1980年を最後に野生株による発症は確認されていない。2012年9月より不活化ポリオワクチンを使用 年間100億円の接種費用

ワクチン運動の写真↓



生ワクチン投与写真↓



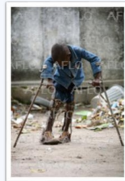
ポリオとは

END
POLIO
NOW

ポリオ＝小児まひ

*ウイルス性感染症

ポリオウイルスが含まれる便に汚染された水や食べ物を口にする事で、脊髄の神経を侵す。手足の麻痺や重症の場合は呼吸困難を引き起こす感染症。人から人へも直接うつります。



5

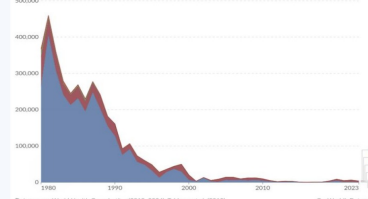
世界の現状

END
POLIO
NOW

- * 1988年 125ヶ国 年間35万人以上の発症
- * 1988年から99.9%減少
- * 発症国はパキスタンとアフガニスタンのあと2ヶ国

Paralytic polio: estimated cases by world region, 1980 to 2023

Estimates of the total number of paralytic polio cases, due to wild poliovirus and vaccine-derived polioviruses.



9

ポリオとは

END
POLIO
NOW

ポリオ＝小児まひ

- * 主に5歳以下の子供がかかりやすい
- * 治療薬はない。
- * ワクチンでの予防が可能



6

なぜ減らせたのか

END
POLIO
NOW

世界が協力したから

「世界ポリオ根絶推進活動」(GPEI)

6つのコア・パートナーと200カ国の政府からなる官民協働組織

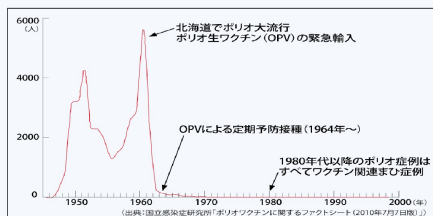


10

日本とポリオ

END
POLIO
NOW

- * 1960年代に大流行
- 日本は1940年代後半から1960年にかけてピークをむかえました。
- 特に1960年には北海道を中心に約5600人もの患者が死者319人。
- 翌1961年の生ワクチン緊急輸入によって収束に向かう。



7

ロータリーの挑戦

END
POLIO
NOW

- 1947年～1961年 日本でポリオ大流行
- 1979年 フィリピンで600万人の子どもへワクチンを輸送
- 1985年 ポリオプラスプログラムを創設
募金目標を1億2000万ドル(日本円で162億円)
- 1988年 「世界ポリオ根絶推進活動」 GPEIを設立
- 2003年 1年間のキャンペーンで1億2000万ドルの募金
ロータリーからの寄付総額が5億ドル(日本円で814億円)を超える
- 2009年 寄付総額が8億ドルに(日本円で1302億円)
- 2011年 ポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーン「あと少し」をたちあげる
寄付総額10億ドルに(日本円で1627億円)

11

ロータリーの挑戦



- 2012年 第1回 世界ポリオデーが開催。毎年10月24日
米国イリノイ州エバンストンでイベント
ロータリー初のライブ配信イベントでもあった
- 2016年 これまで30年以上にわたり、15億ドルを上回る資金を25億人
以上の子どもにポリオ予防接種を提供。
- 2018年 GEPI 30周年
世界ポリオデーをフィラデルフィアで開催。
- 2025年 ポリオプラスプログラムを創設し40年
ロータリーがポリオプラス基金に寄付した総額が
29億米ドル(日本円で4720億円)に達成。

12

ロータリーの活動



ポリオデー写真



16

ロータリーにとってポリオとは？

ロータリー財団管理委員会とR I 理事会は

「ポリオのない世界」と認定されるまで

国際ロータリーおよびロータリー財団にとって

ポリオ根絶は最も重要な目標であり、そうあり続けなければならない
(ロータリー財団章典12.010.)

ポリオプラスプログラムが成功裏に完了するまで、

いかなる他のプロジェクトも検討されない

(2017年1月理事会会合、決定87号)

ロータリーの最優先事項

13

ロータリーの活動



ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペ写真



17

ロータリーの活動



PPSの集い・ポリオデー・各クラブの活動



14

ポリオ根絶とは



ポリオ根絶に取り組んできたロータリーにとって根絶は世界との約束、
子ども達との約束です。
歴史と共に築いてきた根絶への道のりを絶やすことなく私たちが約束を
果たしましょう。

近い将来
ポリオ根絶を祝えることを
信じています。

18

ロータリーの活動



各クラブの活動写真

【白井RC】【松戸中央RC】【富里RC】【茂原中央RC】【佐倉中央RC】



15

イベントのお知らせ



世界ポリオデー地区啓蒙イベントin勝浦

ブルーベリー・ヒル勝浦

2026年10月25日(日)

16時00分～

ポリオ根絶の集い開催

～ポリオイベント～
ゲストの歌や
200基のランタンの打ち上げを
予定しています。



19

